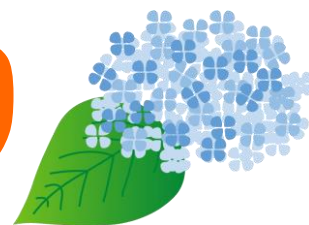


アトリエ 琉游舎 だより 53号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/
 琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

2019年5月22日発行

梅雨の走り



- ・晴れより雨の日が好きという人は珍しいかもしれません。今日は一日中雨と分かれば何もしない日と決めて朝から読書三昧。畑仕事をやらねばとか、体を動かさないと体が鈍ってしまうと気に病む必要もありません。だから私は雨の日も決して嫌いではありません。
- ・5月の下旬は「梅雨の走り」。梅雨入り前のぐずついた天気のことです。そのまま梅雨に突っ走ったら「走り」ではなく「梅雨」そのものになってしまいますが、その前に一休みの五月晴れは嬉しいですね。洗濯物もしっかり乾きます。
- ・ところが最近五月晴れと思っていたらそのまま猛暑となって、一気に真夏まで突っ走ってしまう年もあります。その分秋の長雨がさらに長くなって帳尻を合わせているようです。自然はうまくできています。
- ・今年は冬の雪が少なく、3月4月も平年より雨の量が少なかったため、夏の水不足が心配されます。水不足と日照不足は作物の出来に大きく影響するでしょうから、天候は毎年大きな変動がない方がいいなあ、と畑の作物も思っているはずですね。平年通り、普段通り、平凡な毎日が作物や山の動物たちにとっては一番良い環境なのかもしれません。
- ・今年は平年並みではないなと思っても、大きな季節の流れは梅雨の走りから五月晴れを経て本格的な梅雨そして2か月後には梅雨明け宣言となるはずですね。梅雨を鬱陶しい季節と考えるのではなく、普段通り平年通りの、生き物には貴重な雨の季節がやってきたと考えれば、梅雨の走りは夏や秋の豊かな収穫のための助走期間とも考えられるでしょう。
- ・琉游舎も大きな自然の流れに委ねて、今日もいつもと変わらない平年並みの毎日を楽しみに過ごしながら、でもちょっとだけ平年並みでない刺激や変化を日々見つけられるような場所であればいいなと思っています。梅雨の走りを一緒に楽しみましょう。琉游舎でお待ちしています。

写経会
6月2日(日)
13時半から

詩話会
6月8日(土)
13時半から

居酒屋の会
5月25日(土)
16時から

映画会
毎週木曜日
13時半から

読書会
5月28日(火) 13時半から
6月11日(火)

5/23 木	13時半	北ホテル (92分)	マルセル・カルネ監督。運河沿いの安宿北ホテル。心中を図ってひとり生き残った女がそのホテルで働き始めるが、、、フランスメロドラマの傑作。
5/30 木	13時半	オペラハット (115分)	ゲーリー・クーパー主演。田舎町で小さな町工場を営む青年に突如舞い込んだ莫大な遺産。世間の注目するニュースとなるが、、、
6/6 木	13時半	海の牙 (98分)	ルネ・クレマン監督、第二次世界戦争末期一艘のUボートがナチス再興を目指してオスロを出港する。ルネ・クレマンの1947年戦争劇の傑作。
6/13 木	13時半	遙かなる我が子 (117分)	オリビア・デ・ハヴィランドアカデミー賞主演女優賞受賞作品。戦死した男の子供を産んだ女。子供が私生児の扱いを受けることを怖れた彼女は、、、
6/20 木	13時半	陽は昇る (89分)	マルセル・カルネ監督、ジャン・ギャバン主演。嫉妬心から殺人を犯した男が警察に包囲された状況の中で過去を回想しながらやがて自ら命を断つまでを描いた作品。
6/27 木	13時半	哀愁の湖 (110分)	夫の愛を独占するために、湖で夫の弟を見殺しにしたり、階段から落ちて子供を流産させたりした女の異常心理を描いた作品。

桜の開花が号砲だったのか、草花も生きものも一気に自分の命を発散して駆け抜けていくこの季節は、ちょっと油断すると瞬く間にすっかり景色が変わってしまいます。昨日まではただの枯れ野だったところがいつの間にか緑に覆われ、花々が次々と咲いては散っていき、道には毛虫の行列、蜂はぶんぶん飛び、土の中では虫がもぞもぞ。畑の作物も一雨ごとに成長し、雑草の間にこぼれた赤紫蘇の種から芽が出始めました。自然の色も香りも日々変化する季節。去年と同じような光景でありながら少しずつ去年と違う自然。これが10年も経つとすっかり変わっているのか、全く同じ自然のままなのか、それは人間が自然とどう向き合っているか次第でしょう。いい加減に考えていると人間は自然から共棲を拒否されるかもしれませんね。

自然は一年単位で同じサイクルを繰り返します。人間から見ると毎年飽きもせず同じことの繰り返し、進歩も何もあったものではないと見てしまいがちですが、何百年何千年というスパンで見ると、確実に変化しています。繰り返しの円環の時間が、実は人には気づかない程のゆっくりさで変化をもたらしているのです。ところが人間は自分の生きているせいぜい100年の時間を直線的に突っ走ることしか能のない生き物。人間以外の生き物は命を繰り返し再生することで種のいのちをつないできました。ところが人間は個人の生命だけをいのちと考え、自分以外のいのちを繋げるといふ気が端からない生き物なのでしょう。自然は種の再生のために円環の時間を生き、人間は個人の生命のために直線的な時間を生きているようです。円環の時間は後戻りし繰り返しすることが出来ますが、直線の時間は過ぎたら後戻りのできない時間となってしまうのです。

西洋哲学では自分と自分以外の存在を認識し、分別し、マネジメントするための人間だけが持つ最高の認識能力を「理性」と呼びます。ところが仏教の世界では理性と書いて「りしょう」と読むのです。ありのままの存在の在り方を示した言葉で真如や実相ともいうことが出来ます。ところが明治になって西洋哲学が輸入された時、「ロゴス」を発祥とする論理的な思考能力の訳語に「理性」という漢字が当てはめられたのです。誤訳ではないかと思われるほど「りせい」と「りしょう」では根本的な意味が違います。理性（りせい）は人が存在を認識するための能力なのに対して、理性（りしょう）は人を含めた存在そのものを表した言葉です。紛らわしいのでここからは「りしょう」を「仏性（ぶっしょう）」と呼びます。仏教の世界では存在するものすべてに共通に備わっているものを「仏性」と呼ぶからです。つまりすべての存在そのものを表す言葉が「理性（りしょう）」であり「仏性」なのです。

「草木国土悉皆成仏」という仏教思想があります。草木や国土のようなものも含めてすべての存在するものは「仏性」をそなえているので皆悉く成仏することができるという日本独自の佛教観です。生きとし生けるものばかりでなく、道端の石くれや土くれまでもが「仏性」を持つという何とも日本的かつ過激な思想です。「仏性」から見れば人間も草木国土の一員であり、蛇や蚊や倒木や水たまりと同じで平等であるということ。つまり「仏性」は宇宙のすべての存在が等しく平等に持っている能力なのです。「自分も他者も仏様」ですから「仏性」には対立の概念は生まれようがありません。皆同じ宇宙にいのちをつなぐありのままの存在です。このように宇宙のありようを認識することが「草木国土悉皆成仏」という仏教思想なのです。

片や「理性（りせい）」は宇宙の存在の中のごく少数派である人間しか持っていない能力です。人が理性で存在の認識をすることは「自己と他者」という対立の概念を基盤にするということになるのです。そうすると「理性」の意志は愛と平和より、支配と戦いの方へ引っ張っていく力の方が強くなるでしょう。今の科学文明はこの理性認識のたゆまぬ活動によってもたらされた創造と破壊の繰り返しの結果であり、「理性」によって宇宙のすべてを人間の支配下に置こうとした意思の表れです。「理性」は宇宙を人間の意志のもとにマネジメントするために神が人間だけに与えた能力であるという考えが西洋思想の根底を支えているのです。

そろそろ私たちは「理性」から自由になってみませんか。と言うと倫理や道德の戒めからも放たれて人は悪のし放題になってしまうのではないかという人がいるかもしれません。確かに「自己と他者」という考えに立つ限りはその通りでしょう。それでは「私は (I am)」ではなく「私も (Me too)」というように考えてみればどうでしょうか？つまり「私はこちらだ」ではなく「私もそうだ」と世界を観ることで。これを私は「理性」ではなく「仏性」で世界を観るといふことだと考えます。そうすればすべての存在はそれぞれのいのちを永遠のいのちとしてつないでいくために「お互い様」「お蔭様」の相互扶助の間柄にあるはずだということに気づくでしょう。そしてすべての存在は「無我」「無常」「縁りて起こる（縁起）」というお釈迦様の根本の教えに辿り着くはず。そしてそこが「安らぎのところ」なのは言うまでもありません。

円環の時間は、自分が好きなだけそこにとどまったり後戻りしたりすることができながらも、大きな宇宙の時の流れに身も心も任せる時間なのです。私は自然豊かな地に暮らしはじめて3年近くたち、やっと円環の時間を生きるということが少しずつ実感できるようになりました。これは隠棲でも田舎暮らしでもなくスローライフでもロハスな生活でもありません。毎日が変化に富み、刺激的でスリリングな時間です。

考え、歩き出し、立ち止まり、考え、また歩き出す行いの日々です。その時の

琉游舎：戸井 出琉・恭子

同行者が仏性を備えた草木国土だと気付いたとき、どうやら私は「悉皆成仏」の教えを受持することが出来るようになったようです。（出琉）

お問い合わせ先：0287-53-7848 08033508152

矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850